

事業概要シート

施策	0401	国際理解・国際交流の推進	≪≫の金額 現年度当初・補正予算、前年度繰越額の合計 ※補正予算要求時は今回の補正予算額を除く ※次年度予算要求時は次年度繰越額を除く		
事業名	国際交流事業	現状維持	予算額	11,458 千円	
事業期間	平成25年度	～		≪ 6,656 ≫千円	
根拠法令 要綱等	友好都市締結意向書、姉妹都市提携共同宣言、 姉妹都市提携合意書、大村市中高生海外派遣事業 参加費補助金交付要綱	財 源 内 訳	国庫支出金	千円	
			県支出金	千円	
			地方債	千円	
			その他	千円	
			一般財源	11,458 千円	

【事業の目的・概要・対象】

(目的) スポーツ・文化交流、ホームステイを通じて多文化への理解を深め、国際感覚の醸成を図る。
 (概要)

①相互公式訪問

大村→閔行区、不定期(前回はH30.11) 閔行区→大村、不定期(前回はR6.1)
 大村→シントラ市、4～5年毎(直近R7.1企画政策部長、前回はH29) シントラ市→大村、不定期(前回
 H25.6)
 大村→サンカルロス市、不定期(※前回はH24.7、R7.5訪問予定) サンカルロス市→大村、公式訪問なし
 ※令和7年度に姉妹都市通り完成記念式典で訪米予定

②中高生のホームステイ派遣(費用の一部補助)

③小学生と海外の姉妹都市等の子どもたちとのオンライン交流

(対象) 市民、友好・姉妹都市市民、国際交流団体

中国・上海市閔行区 : 平成5年12月 友好都市提携
 ポルトガル・シントラ市 : 平成9年 8月 姉妹都市締結
 アメリカ・サンカルロス市 : 平成24年7月 姉妹都市締結



シントラ市



上海市閔行区



サンカルロス市

【背景】

行政が継続して友好都市・姉妹都市との相互公式訪問や中高生のホームステイ事業等を展開していくことで
 民間交流の推進が図られ、市民の多文化理解、国際感覚の醸成につながっている。

担当課	企画政策部企画政策課	課長	三岳 和裕
担当者	永田 杏実	問合せ先	0957-53-4111(内線103)

事業概要シート

【活動指標】

指標名			単位	R 5 (実績)	R 6 (計画)	R 7 (計画)	R 8 (計画)	R 9 (計画)
①	中学・高校生のホームステイ派遣者数	計画値	人	0	4	8	8	8
②		計画値						

【成果指標】

指標名			単位	R 5 (実績)	R 6 (計画)	R 7 (計画)	R 8 (計画)	R 9 (計画)
①	ホームステイ終了後に語学力がアップしたと感じた学生の割合	計画値	%	-	100	100	100	100
②		計画値						

【予算・決算】（千円）

事業費は当初・繰越・補正予算の合計額

年度	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8	R 9	合計
事業費	227	438	6,656	11,458	6,656	6,656	32,091
国庫支出金							0
県支出金							0
地方債							0
その他							0
一般財源	227	438	6,656	11,458	6,656	6,656	32,091
人件費	2,436	2,052	2,540	2,096	2,096	2,096	13,316
職員(人)	0.33人	0.28人	0.33人	0.28人	0.28人	0.28人	1.78人
時間外勤務(h)	18h	8h	70h	30h	30h	30h	186h
会計年度任用職員(人)	0.00人	0.00人	0.00人	0.00人	0.00人	0.00人	0.00人
フルコスト	2,663	2,490	9,196	13,554	8,752	8,752	45,407

妥当性 (市の関与)	姉妹都市提携に基づく相互訪問事業等、継続した国際交流を推進するため、市の関与は妥当である。
有効性 (施策貢献度)	国際交流の推進の手段として必要な事業である。
効率性 (コスト)	海外派遣事業については参加者は負担金（渡航費用の1/10）を負担している。

1次評価	担当者意見のとおり
2次評価	1次評価のとおり